

## 第6学年1組 学級活動指導案

1. 日時・場所 平成27年6月10日(水) 5校時 6年1組教室
2. 議題 「1年1組とハッピーハッピー集会をしよう」
3. 議題について

学級目標

一致団結

### (1) 児童の実態

本学級の子どもたちは、優しくがんばり屋な子が多い。先日行われた運動会では、「思い出」「一つに」「最後」といった思いを胸に取り組んだ。組体操では、何度も失敗したものの果敢に挑戦し、当日は成功を収めた。特に、最後の演技では、学年全員で一つのピラミッドを完成させたことで、学年全体のまとまりが生まれるとともに、一人一人が達成感や団結する気持ちを高めることができた。

6年生としてこれまで以上に気持ちがまとまってほしいという願いから、学級目標を「一致団結」と決め、今日まで取り組んできた。学級会を行うと、学級目標やめあてに沿った意見かどうか自分たちで考えて発言をすることができている。だが、学級会に臨む姿勢には個人差があり、数人の児童の間で意見が交わされてしまうこともある。

これまでの学級会では、「6年生スタート集会をしよう」「シンボルマークを作ろう」といった議題で話し合って実践してきた。話し合っている時に、数人の意見が平行線になることも多かった。だが、お互いにめあてとすることからは逸れてはならず、よい意味で意見を主張し合うことができていた。しかし、まだまだ自分たちで集団決定していくことには難しさを感じているようである。

先日、キラキラタイムで一ヶ月前の記録よりもよくない記録が出た。さらに下学年よりも記録が低く、困惑するクラスの雰囲気生まれた。そこで、ふり返りと共に話し合った中では、お互いに意見を主張し合う場面やこれからどうしていくのかを話し合う子どもたちの姿が見られた。

### (2) 議題選定の理由

クラスの中で議題を集めたところ、以下の5つの意見があがった。「ザリガニの世話をどうするのか」、「大縄の練習について」、「スポーツ集会がしたい」、「1年生との交流がしたい」、「青空ステージに絵を描きたい」の5つである。この中で、ザリガニの世話については、係か日直が行うこととした。

「青空ステージに絵を描く」、という意見は子どもたちだけで決められる範囲ではないため、議題として扱わないことをクラスに伝えた。一昨年度来、キラキラタイムでも熱心に取り組んでいる「大縄」と「1年生との交流会」とが候補になる中、子どもたちと話し合っ、「1年生との交流会」を議題とした。

また、提案者は、これまでに給食や掃除、運動会などで1年生との触れ合いに喜びを感じている。「名前を覚えてもらった」「〇〇さんは1年生の中で人気があるんだよ」などと、楽しそうに1年生との交流を語っている。その思いをクラスの仲間にも共有してもらいたいという思いから、今回の交流会を提案したいという思いをもっている。提案者のみならず、クラス全体に1年生のことを考えてあげたいという雰囲気も高まっていることから、本議題を選定した。

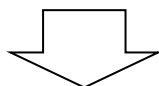
#### 4. 評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
学級や学校の生活の充実と向上にかかわる問題に関心をもち、他の児童と協力して自主的に集団活動に取り組もうとしている。	楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために話し合い、自己の役割や責任、集団としてのよりよい方法などについて考え、判断し、信頼し支え合って実践している。	みんなで楽しく豊かな学級や学校の生活をつくることの意義や、学級集団としての意見をまとめる話し合い活動の効率的な進め方などについて理解している。

#### 5. テーマとのかかわり

テーマ： 夢や希望をもち、よりよい人間関係を築く特別活動

サブテーマ： 期待感ふくらむ学級会をめざして



高学年の目指す子ども像：

他者の考え方を受け止め、お互いのよさを理解し合い、高め合える行動がとれる子

#### 教師の思い

これまでの話し合いでは、学級会に臨む気持ちに個人差があるように見られた。積極的に発言をする子もいれば、どことなく無関心に近い態度でいる子もいる。子どもたちの必要感や有用感を満たす議題が選定されていなかった反省はあるが、子どもたちが積極的に話し合える議題が必要と考えた。今回、議題を募った中で、他者を意識した議題が挙げられた。「学級会」とは、自分たちのクラスをどう高めていくのか、どう諸問題に対して解決していくのかを話し合って集団決定をしていく場である。だが、今回、あえて1年生と関わる議題で話し合っていく。その中で、クラスの中に活発な意見交流が生まれることを願っている。また、実践の場面を意識していくことで、どうしたら上手くいくのか、どうしたら相手に伝わるのか、喜んでもらえるのか、本気で、そしてワクワクしながら考えてほしいと思う。そして、他者を意識して集団で話し合い、その実践を1年生と楽しく活動することで、クラスが一つになり、自分たちの素晴らしさを再確認していってほしい。

今回、話しやすい雰囲気づくりのために、椅子を円形に配置して話し合う。前回の話し合いで試みたところ、距離感が近くなったことがきっかけとなったのか、「話しやすい」という声が多く聞かれた。また、近くの友だちとのちょっとした相談もしやすいようであった。自分の意見を伝えるのはもちろんだが、友だちの意見を聞き、一人一人の意見のよさを活かした、つながりのある発言を意識して話し合い活動を進めることができる学級になってほしい。

## 6. 活動の実際

### (1) 事前の活動

活動の場	活動内容	評価 (☆) と支援 (○)
6月4日(木) 休み時間	計画委員と担任で議題の選定をし、学級会のめあてを決め、役割分担をする。	○提案者が議題を提案した理由を明確にして、学級会に向けて統一したイメージをもてるようにする。 ○役割を確認し合い、学級会の進め方が理解できるようにする。 ☆学級会に向けて進んで準備をしている。 (集団活動や生活への関心・意欲・態度)
6月5日(金) 特活タイム	議題と提案理由、話合いの柱を学級に伝える。 計画委員が、議題に対して意見を集める。	○提案者の思いを伝え、一人一人が自分の考えをもてるようにする。 ○話合いの柱を確認し、学級会のイメージがわくようにする。 ☆提案理由とめあてを意識した意見を考えている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)
6月5日(金) 中休み	集めた意見を計画委員が集約する。 計画委員で「集める」段階の意見を分類、整理する。 出てきた意見を学級会コーナーに掲示する。	○話合いの方向性がずれないように、提案理由やめあてに沿った意見かどうかを確認する。 ○意見を分類整理し、話合いの流れを確認する。
6月8日(月) 休み時間	司会グループで学級会の流れを話し合う。 役割分担に従って話合いの進め方を確認する。	○司会グループが学級会の場面をイメージできるように、必要な助言をする。 ☆担任とともに、学級会の進め方を考えている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)

### (2) 本時の活動

- ①ねらい 1年生が楽しめるような集会を考える。
- ②本時の視点 折り合いをつける発言は見られたか。  
実践にむけて、期待感をもって話合いに臨んでいたか。
- ③児童の活動計画 別紙(当日)

④教師の指導計画

児童の活動	評価（☆）と支援（○）
<p>1. はじめの言葉</p> <p>2. 司会グループの紹介</p> <p>3. 議題、提案の理由、話合いのめあての確認</p> <p><b>議題</b>:「1年1組とハッピーハッピー集会をしよう」</p> <p><b>提案理由</b>:これまで1年生と給食や掃除などを一緒に取り組んできた。5月で1年生との交流が終わってしまったが、もっと1年生と触れ合いたいと思って提案しました。</p> <p><b>めあて</b>:1年生が楽しめる集会を考えよう。</p> <p>4. 決まっていることの確認</p> <p><b>決まっていること</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6月19日（金）休み時間</li> <li>・1年1組の教室</li> <li>・会の時間は全部で20分間</li> <li>・形式は、全体で取り組む形</li> </ul> <p>5. 話合い</p> <p>柱1 交流会でやる内容を決める 集められた意見を黒板に貼っておく。</p> <p>①（事前に出された）意見を黒板に貼る。 ②意見を比べ合う。 比べながら賛成、反対の意見を言う。 ③意見をまとめる。</p> <p>柱2 1年生に楽しんでもらえる工夫を考える</p> <p>①意見を集める ②比べながらよりよい方法を考える。 ③意見をまとめる</p> <p>柱3 役割分担をする。</p> <p>①集める ②比べる ③まとめる</p>	<p>○見通しをもって会を進められるように、学級会カードや司会台本、黒板記録計画で、進め方や記録の仕方を事前に確認する。</p> <p>○自信をもってはっきりと話することができるように、司会台本を用意し、必要に応じて話す言葉を助言する。</p> <p>☆司会グループとして自分の役割を果たしている。 (集団活動や生活への関心・意欲・態度)</p> <p>○限られた時間の中で取り組める内容かどうか考えるよう伝える。</p> <p>○話合いのめあてからそれた場合には、話し合い家鄭することができるように全員に助言する。</p> <p>○司会が話合いの進め方などでつまづいている時は、みんなに問いかけたり助言したりする。 ☆友だちの意見を認めたり、うなずいて聞いたりしている。(集団の一員としての思考・判断・実践)</p> <p>○柱2では、遊びなどのルールのような工夫と、会そのものの工夫と分けて考えられるよう、板書を整理する。</p>

<p>6. 決まったことの確認</p> <p>7. ふり返りタイム</p> <p>8. 先生の話</p> <p>9. 終わりの言葉</p>	<p>○自分の思いをふり返りカードに記入するように声をかける。</p> <p>○実践を意識したふり返りになるように声をかける。</p> <p>☆学級で一つの活動を決めることの意義について理解している。</p> <p>(集団活動や生活についての知識・理解)</p> <p>○意見のよさを活かそうとした発言や、つながりのある発言、めあてに沿った発言などを取り上げて賞賛し、実践への意欲付けを行う。</p>
---	--

(3) 事後の活動

活動の場	活動内容	評価(☆)と支援(○)
<p>6月11日(木) ～18日(木)</p> <p>特活タイム 休み時間</p>	<p>分担を決め、作業を進める。</p> <p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラム</li> <li>・言葉</li> <li>・遊び担当</li> <li>・飾り</li> <li>・司会</li> <li>・写真</li> </ul>	<p>○自分の役割を意識できるように、決まった計画を学級会コーナーに掲示し、作業が進められるようにする。</p> <p>○相手意識をもって準備が進められるように声をかける。</p> <p>☆学級の一人として自己の役割を意識し、助けて準備している。</p> <p>(集団の一人としての思考・判断・実践)</p>
<p>6月19日(金)</p> <p>中休み</p>	<p>集会活動をする。</p>	<p>○相手を意識し、決定したことをどの場面でも気持ちのよい態度で実践している。</p> <p>☆話合いで決めた内容を理解し、友だちと協力して取り組んでいる。</p> <p>(集団の一人としての思考・判断・実践)</p>
<p>6月19日(金)</p> <p>帰りの会</p>	<p>実践をふり返り、感想を交流する。</p>	<p>○話合いや準備についてもふれ、全員で作上げたことを実感できるようにする。</p> <p>○実践を終えて感じたことや、これからに向けての思いを伝え合い、学級全体の気持ちを高められるように声をかける。</p> <p>☆自分たちの活動をふり返り、今後の活動に活かそうとしている。</p> <p>(集団の一人としての思考・判断・実践)</p>